

温泉の湧出に感謝を込めて

十又峡温泉では昭和32年の温泉湧出に感謝を込めて、12月6日・7日の2日間「温泉供養祭・感謝祭」を開きました。午後7時過ぎ、松明を先頭に温泉街を練り歩いた天狗・山伏行列が十又峡イベント広場に登場。大勢の来場者が一斉にカヌエを構えました。行列は、天狗が松明から会場内の明りに火を灯して無事に終了し、感謝祭はスタートしました。ステージでは、赤石太鼓や中部電力アマチュアバンドの演奏、カ目唄たちによる丸太切り競争などで盛り上がり、来場者から大きな拍手が送られました。

会場内には、猪鍋、熊鍋、カニ鍋、鹿鍋、そばなどの味覚が並び、来場者の舌を楽しませました。催しの最後には、温泉の湧出に感謝の気持ちを含めた餅つきが実施され、できあがった餅は来場者にふるまわれました。

STORY

広報かわねほんちゅう

2010

1

No.51



生活に溶け込む「税の大切さ」を作文で表現

中学生の税に関する作文・全国54万通の中から選ばれた2人

全国納税貯蓄組合連合会および国税庁が主催する「中学生の税に関する作文」。全国7000校を超える中学校から過去最高の54万2889通の作品が寄せられ、その中から池本夢実さんの作文が総務大臣賞を、石原太勢君の作文が全国納税貯蓄組合連合会優秀賞に選ばれた。受賞した作文とインタビューの内容から、2人の税金に対する考え方を紹介する。

葉にとっても喜んだ夢実さん。「スクールバスが平栗まで来れば、両親の負担は減り、自分も寂しい思いをしなくて済みます。でも、そのとき母が言ったんです。『この地区の子ども2人のために、税金を使ってもいいのかな』って。」

その言葉は、夢実さんが税金について深く考えるきっかけとなった。「両親に教えてもらい、わたしたちの暮らしや学校生活は税金によって支えられていることを初めて知りました」。

「人口8000人の山間地、川根本町に住むわたしは、夕方5キロのマラソンコースを走るのが日課だ」の書き出しで始まる夢実さんの作文「スクールバス」。税金について考え始めたきっかけや納税者への感謝の心がつづられている。

夢実さんが暮らす平栗地区は、学校から遠く離れており、両親の送迎なしには通学するのが困難な地区だ。「下校時など、一人で駅舎や公民館の軒先で親を待つことが多く、そのたびに寂しい思いをしていました」。

「両親に教えてもらい、わたしたちの暮らしや学校生活は税金によって支えられていることを初めて知りました」。

それから1カ月経ったころ、スクールバスの話は実現した。そのときの心境を夢実さんはこう振り返る。「この町の大人が子どもをどれだけ大切に思ってくれているか伝わってきて、言い表せないくらいうれしかったです。今まで当り前のように学校教材を使い、地域の行事を楽しんでいましたが、これは本当は税金のおかげ、

域のお年寄りも乗れるようになりました。放課後児童クラブが始まり、両親共働きで寂しい思いをする子も減りました。税金が多くの人のために使われていることが分かり、とてもうれしくなりました」。

夢実さんは最後にこう訴えかける。「税金を払っているのだからサービスを受けるのは当然という声を耳にしますが、この当然と思う気持ちを感謝する心に切り換えてみてはどうでしょうか。きっとこれまで以上に、税は大切に有効に使われると思います。両親が教えてくれた納税者への感謝の気持ちと工夫して使う努力を、未来を担うわたしたちが実践していかなくてはなりません」。

「医療と税金」という題名の石原太勢君の作文。この町の住民にとって切実な問題である「地域医療」について、太勢君の考えが述べられている。

生前やさしかった祖父が肺の病で倒れたとき、自宅から50キロ離れた島田市民病院に入院することになった。「祖父は入院中、長い時間をかけて見舞いに来る僕たちを気遣って『もういいで早く帰るさ。気を付けて帰れよ』と、自分のことよりも僕たちの心配をしてくれていたことを思い出します」。

大きな病院がない川根本町の現実を太勢くんはあらためて考えた。「僕はよく、町内に大きな病院があればなあ」と考えます。大きな病院があれ

かかったとき、どうしても静岡市や島田市まで通うことになり、高齢者が多い本町にとって、大きな負担になっています。子どもが困ったときに頼れるのが親であるように、高齢者が困ったときに頼れるのが医療機関なんだと思います。しかし残念ながら、川根本町の実態は、町民にとって安心して頼れる存在にはなっていないと思うんです」。

太勢君は税金の使い道について「国民の命を守ることを最優先に考えてほしい」と提案する。「道路を広げたり、新幹線や新しい文化施設を建設することも必要です。でも今、病気で苦しん

でいる人や不自由な体で困っている人、不安を抱いている人を助けることの方が、もっと大事だと僕は思います。特にこれまで、この国や町を支えてくれた高齢者の人たちが、笑って楽しく過ごせるような地域づくりを、これからはいかなければならないと思います」。

2人の作文から、わたしたちが学ぶべきことがたくさんある。

石原太勢君

Ishihara Taisei
全国納税貯蓄組合連合会優秀賞
崎平・本川根中3年

池本夢実さん

Ikemoto Yumemi
総務大臣賞
平栗・本川根中1年

このまち
の未来

ふじのくにに一の長寿の町を誇りに

川勝平太静岡県知事と語り合った日 12・3

静岡県でもっとも高齢化率が高い川根本町を12月3日、川勝平太静岡県知事が訪問した。町内の各施設などを視察したあと、広聴会を開催。町民の皆さんと膝をつき合わせて意見を述べ合った。本町のことを知事は「高齢化率が高いではなく、ふじのくに一の長寿の町として誇りを持って暮らそう」と提案。知事来町の1日を追った



福祉センターで利用者の皆さんと笑顔で握手する川勝知事。心温まる瞬間。

川勝知事が各施設を訪問

川勝平太静岡県知事が県内各地を視察し、地域住民の皆さんと直接対話することで、地域の実情を把握する「知事広聴」は、12月3日に実施されました。千年の学校の名誉学長として本町を訪れたことがある川勝知事。本町との縁も深い人です。

午前中、町内の若者定住促進住宅と福祉センターを見学し、午後は文化会館で、住民の皆さんとの広聴会を開きました。

午前10時、本町に到着した川勝知事は佐藤公敏町長の歓迎を受けたあと、視察1カ所目の若者定住促進住宅(地名)に向かいました。この住宅は、「若者を迎える住まいづくり」を定住対策の基本に掲

げる本町が平成17年度から建設を進めてきた住宅です。現地に到着した知事一行は、住宅の周辺をぐるっと見学し、建設課職員による概要説明を受けました。建設経緯や建物の基本構造、現在の入室状況などの説明を受けたあと知事は、「若者の定住を促すという目的が素晴らしい。ただし住宅というものは、自由に使える土地がどれだけあるかが重要。建ぺい率だけでなく、庭も含めた敷地全体でとらえたいですね」と職員に提案しました。

住宅の玄関先では、知事の訪問を心待ちにしていた住民の皆さんが顔を出していました。「この住宅は住みやすいところですか。何か希望することがありますか」と知事が質問を投げかけると、住民の皆さん

センター。町民参加による地域の福祉拠点として、社会福祉協議会が運営する施設です。午前11時過ぎに到着した知事一行は、職員の案内で施設内を一巡。館内を丁寧に見学しました。途中、利用者の皆さんが健康体操をしているところにお邪魔すると、知事の来訪に皆さんから喜びの声が上がりました。知事は一人一人と温かい握手を交わしたあと、健康体操に飛び入り参加。皆さんから大きな歓声と拍手を受け、一緒に体操を楽しみました。

その後、福祉センター職員と面談した知事は「暮らしへの不安などはありませんか」と質問。

それに対して職員は、「ここで働く職員も平均年齢が50代。高齢化が進む町の将来はどうしても不安です。一人暮らしのお年寄りも増えてきており、これからの生活など心配ですね」と、切実な現状と将来へ

の不安を訴えていました。知事は、「ここは高齢化率が県内で一番高い町。でも『高齢者が多い』ではなく、『長寿の人が多い町』と発想を変えてみてはいかがでしょうか。この町は『ふじのくに一の長寿のまち』なんです。ここには美しい風景や豊かな環境、きれいな空気があります。発展する可能性は十分にある。大丈夫、この町に誇りを持ってください」と職員に激励を送りました。

知事は予定時間いっぱい福祉センターを見学し、利用者の皆さんとの触れ合いを楽しんだあと、文化会館に移動し、午後からの広聴会に備えました。

文化会館では、午後1時の開演を前に、知事の登場を心待ちにしていた人が続々と来場。300席あるホール内は見ると間に埋まっていきました。

広聴会は次ページへ



建設課職員の説明を聞きながら、若者定住促進住宅を見学する川勝知事。積極的に質問を投げかけたり、ときには的確なアドバイスを送ったりしていた。



川勝知事を囲んで。若者定住促進住宅の入居者の皆さん。雨が降るあいにくの天候ではあったが、お子さんを連れて、知事と面談してくれた。



福祉センターで、健康体操中の皆さんの輪に知事が飛び入りで参加。一緒になって体操を楽しんでいた。大きな笑い声と拍手が飛んでいた。



みどりの丘の工房にて。陶芸作品を作っているところを知事が見学した。手先の器用さが求められる精巧な作品の数々に、感心しきりの知事だった。



鈴木信子さん (上長尾)

宮下浩之さん (地名)

千澤文子さん (坂京)

氣田明奈さん (下泉)



上中通寿さん (徳山)

大村善彦さん (大間)

山下喜隆さん (小長井)

野口直次さん (水川)

ここに生まれて良かったと、 誰もが思えるような町に



会場を埋める大勢の来場者が見守る中
午後1時から開始された広聴会
各分野で活躍する町民8人が舞台上上がり
川勝知事と対面、意見を交わした
現在、本町が置かれている現状、将来への希望
質問もさかんに飛び交った広聴会
8人からの提案など、抜粋してレポート

わたしが提案したいのは、新規に農業をやりたいと意欲がある人が従事しやすくなる制度改革も必要ではないかということ。新規就農は手続きなど、かなり手間がかかるという時代だからこそ、やる気のある若者が農業に従事しやすい環境づくりを考えていく必要があると思います。

資源に恵まれた自然豊かな町です。しかし、それら資源が必ずしも生かされているとは言えません。富士山静岡空港が開港し、新規顧客の開拓も視野に入れていく必要があります。ハイキングや登山客などの観光客数はわずかながら増加していますので、光山や南アルプスを活用したグリーンツーリズム、エコツーリズムなど活発化する方法を考えていけたらと思います。

わたしは商工会青年部の部長を務めています。地域愛にあふれる若者たちが集まり、自分たちに何ができるか模索しています。町の皆さんと手を取り合いながら、今後も町が発展する方法を考えていきたい。ここに生まれ住んで良かったと、誰もが思えるような町にしていけたらと思っています。

野口直次 地元の農家同士で協力し合い、ゆずを使つた商品を開発。このほど試作品ができあがりました。ここの風土で、手間暇かけて作った自慢の一品です。今後、消費者がどんな商品を求めているかを把握し、アイデアを出し合いながら、どのようか販売していくか検討を重ねたいと思っています。

山下喜隆 木材は、再生可能な資源として、近年その価値が見直されてきています。しかしながら国産材、県産材、地域産材の消費は伸びていません。今後、伐期を迎えた森林を適正に維持管理するためにも、木材の消費拡大を図ってきたいと考えています。そのためには山林の土地境界を明確にし、適正な管理を進めることが必要です。また山林に生息する鹿、カモシカ、猪、熊などの被害も増加しています。被害が発生してから対策を講じるのではなく、被害が発生する前に予防を施し、この豊かな森林を守ることを考えていかなければと思っています。

上中通寿 わたしは地域の子どもたちに空手の指導をしています。教室を始めたところ小学生だった子たちが、今では大学生になり社会人になり、社会の第一線で活躍している姿を見ると、とても頼もしく思います。そうした中づくづく思うのは、小さいころからの教育こそ重要であるということ。少子化が進む本町にあって、空手教室に通う子が少しずつ増えています。礼節を学び、精神も強くなる空手。教室では一生懸命取り組む子ばかりです。将来が有望視される子もたくさんいます。しかし小・中学校と空手を続けても、そ

のあと続ける環境が少ないのが課題です。ぜひ子どもたちが大きくなっても続けていける環境を整え、青少年の健全な育成につなげられたらと思っています。

しみながら毎日を暮らしていることではないかと思っています。

ながら、これからも守り伝えていきたい思います。平成16年にはいききサロンを立ち上げ、地区内の交流も進んでいます。行事を楽しみにしてくれる人も多く、わたしも張り合いがあります。みんな一日でも長く、元気に暮らしていけたらと思っています。

触れ合う場として有効活用できないかと考えています。補助金の関係などで難しいようですが、実現できたら、地区内の異世代交流もさらに進むことと思います。

氣田明奈 わたしがこの町で暮らして思うことは、仕事が終わったあとに若者が立ち寄れる場所がないということです。仕事帰りに寄るところといえばコンビニくらい。これでは若い人たちは、どうしても島田市や静岡市などにしか出てきません。

千澤文子 わたしが住む坂京なんです。この地区は現在24戸・人口60人足らずの、ほとんどが高齢者の集落です。1人暮らし、2人暮らしのお年寄りが多く、家と家が離れて点在しています。このため回覧板を回すのも一苦労。地震など災害時には、陸の孤島になってしまうという心配もあります。

宮下浩之 わたしが心配しているのは、少子化の影響で川根高校の生徒が減少しているということ。現在進行形で生徒の減少が進んでおり、5年後・10年後が非常に心配されています。全国には中学・高等学校が一体となって教育を進めるモデルケース的な学校もあります。本町でもこういう先進的な制度を活用して、子どもたちの健全な育成を図れないかと考えています。

鈴木信子 わたしは地域の人たちと協力し「上長尾勝手に盛り上がる会」をつくり、毎年のお祭りに参加。みんなで一緒に楽しみながら祭りを盛り上げています。こんな小さなことでも「地域が元気になる」ということを知ったんです。お祭りのあとには、来年もやろうね」と声をかけられ、励みにしています。わたしには一つ目標があります。それはお茶を扱ったカフェのようなお店を開くこと。クリアしなければならぬ課題はたくさんありますが、ゆくゆくは氣田さんが言うような、若者が気軽に立ち寄れる、お茶のことに詳しくなれるようなお店を開くことができたらと思っています。

また本町は「お茶の町」というイメージがありますが、意外と知らないことも多いのでは。いろいろなお茶を提供し、お茶のことに詳しくなれる「カフェ」のような場所があればいいと思います。お茶のことを知りながら、若者が気軽に集まることができる、そんな場所があったらうれしいです。

一番大切なのは、地元の人が楽

また地域にある保育園は現在休園となり空き施設になっていますが、ここを高齢者と子どもたちが

観光面では近年、グリーンツーリズムに代表される長期滞在型の観光が目立ってきています。この自慢のお茶を活用して、ぜひ「グリーン・ティー・ツーリズム」を実現させてください。農業体験など、活路はちょっとしたアイデアから生まれることでしょう。



川勝平太 静岡県知事

ここには人の手で管理された美しい森林や、大井川の流れ、自慢のお茶がある、奥座敷としてのたたずまいを持った地域です。

皆さんがお茶など、いいものを作っているのは間違いのないこと。あとはそれをどう生かすか。使い方を工夫することが必要なんです。

たとえば大井川鐵道の駅周辺などにおいしいお茶が飲めたり、ゆず製品を味わえるカフェのようなお店を出すのも一つのアプローチ。どう使えば、消費者に受け入れられるのかを考えていくことが大事なんです。木材についても同様です。消費がなければ供給はできないわけですから、いかにして使うか、知恵を絞ることで活用方法は生まれると思います。

都会では1000人が入居するマンションなどがたくさんあります。しかしたいがいは隣の人の言葉を交わしたくない、顔さえも知らないということも多い。かと思えば、坂京のように60人の地区で、互いに支え合って助け合っている地区がある。この町が一つの大きな家族のようなものではないかと思っています。高齢者が多いと言いますが、高齢ではなく「長寿の人」が多いと発想を変えましょう。この町は長寿の町なんです。それは素晴らしいことなんです。

高齢化率が県下ナンバーワンのまち。それはつまり「ふじのくに一長寿の町」ということ。誇りに思っていることだと、わたしは思います。

ここに、一つの物語。広報かわねほんちょう



第10区走者
八木勝人
Yagi Masato



第9区走者
前川裕音
Mackawa Hiroe



第8区走者
池本夢実
Ikemoto Yumemi



第7区走者
石原太勢
Ishihara Taisei



第2区走者
蘭田紳一路
Sonoda Shinitirou



第1区走者
渡邊愛里
Watanabe Airi



第9区走者 前川裕音（小長井）
わたしたちは多くの人に支えられ、練習を重ねてきました。互いに競い合うことで高め合ってきました。強い選手が揃った大きな町にはかなわないけれど、ここには、どのチームにも負けない強い「団結力」があります。本番では、選手全員が精一杯走り抜き、みんなの願いを込めたタスキをつなぎたいです。



【町の部】レポート
各市町の威信をかけて健脚を競い合う静岡県市町村対抗駅伝競走大会。第10回記念となる本大会は12月5日午前10時、静岡県庁前をスタートした。
1区は3・974キロ。駿府公園中掘通りを時計回りに進む。前方を見すえ力走するのは渡邊愛理選手。先頭集団を懸命に追走し、区間13位のタイムで第1中継所に飛び込んだ。
2区は1・848キロ。1区と同様、駿府公園中掘通りを駆け抜ける。区間9位のタイムで快走を見せる蘭田紳一路選手は、前方の河津町を一気にとらえ、12位で長嶋選手にタスキを渡した。
3区は1・469キロ。駿府公園に別れを告げ、草深橋を渡って長谷通りへと進んでいく。区間タイム11位の好走で、山下選手が待つ第3中継所を目指した。

4区は5・81キロの長丁場。タスキを胸に大きなストライドで駆け抜ける前川恭佑選手。北街道にかかる長尾川橋前後のアップダウンをもとせず、前川豊美選手の元へタスキを運んだ。
5区は5・81キロの長丁場。タスキを胸に大きなストライドで駆け抜ける前川恭佑選手。北街道にかかる長尾川橋前後のアップダウンをもとせず、前川豊美選手の元へタスキを運んだ。
6区は4・34キロを走る前川豊美選手は、5区の前川恭佑選手、9区の前川裕音選手のお母さん。わが子の力走に触発されたように力強い走りを見せ、11位で第6中継所に入った。
7区は3・76キロ。清水第六中の東門から天王町交差点へと向かう。石原太勢選手は11位を堅守する走り、池本選手にタスキをつないだ。

池本夢実選手が走る**8区**は3・02キロ。緩やかに続くアップダウンが選手を苦しめる。池本選手は区間9位のタイムで好走し11位の位置を守りきった。
9区を走る前川裕音選手は、小柄な身体ながら大きなフォームで4・67キロを駆け抜けた。順位を一気に2つ上げ、9位で第9中継所へと駆け込んだ。
八木勝人選手が走る**10区**は4・31キロ。スタート直後からアップダウンが連続する選手泣かせの区間だ。
八木選手は、区間4位のタイムをたたき出した松崎町には一歩及ばなかったものの、区間9位の走りで健闘し、10位でアンカー大窪選手にタスキを託した。
最終11区。5・445キロの長丁場。タスキを受け取った大窪健太選手は、渾身の走りで草薙を目指した。陸上競技場第4ゲートに大窪選手の姿が現れると、本町応援ブースからひときわ大きな歓声が上がった。必死の表情でトラックを周回し、ゴールに駆け込んだ瞬間、達成感あふれる笑顔を見せた。本町は、昨年の記録を大幅に更新し、町の部9位でフィニッシュ。2時間33分10秒のドラマに幕をおろした。

町の誇りを胸に、精一杯駆け抜けたチーム川根本町。敢闘賞を受賞し、みんなの喜びを分かち合った。
10回を数えるしずおか市町村対抗駅伝。これまで、たくさんの方が練習を重ね、タスキをつなぎ、あくなき挑戦を繰り返してきた。
過去から現在、そして未来へと受け継がれるオレンジ色のタスキ。ランナーたちの汗と涙、挑戦者たちの熱い思いが込められている。



第10回記念静岡県市町村対抗駅伝競走大会レポート RUNNERS

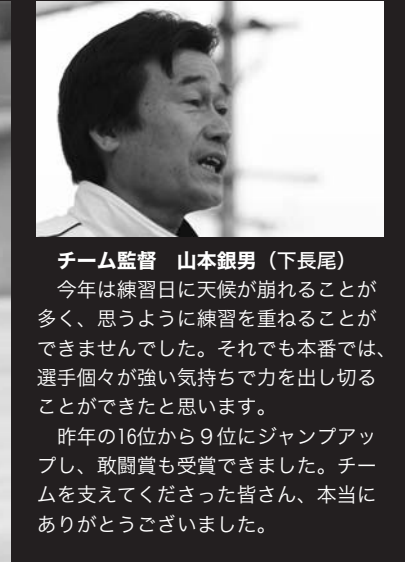
取材協力：菊川市 村田真衣、御前崎市 山崎良、牧之原市 池田公子、藤枝市 谷口昌敬・瀧下恵大、吉田町 岩下聡、伊東市 松本彰人、小山町 常盤洋平、南伊豆町 佐藤由紀子、島田市 鈴木克典



1500mタイムレース走者
松崎未来
Matsuzaki Miku



1500mタイムレース走者
宮島大樹
Miyajima Daiki



チーム監督 山本銀男（下長尾）
今年は練習日に天候が崩れることが多く、思うように練習を重ねることができませんでした。それでも本番では、選手個々が強い気持ちで力を出し切ることができたと思います。
昨年の16位から9位にジャンプアップし、敢闘賞も受賞できました。チームを支えてくださった皆さん、本当にありがとうございました。



第11区走者
大窪健太
Ookubo Kenta



第6区走者
前川豊美
Mackawa Toyomi



第5区走者
前川恭佑
Maekawa Kiyosuke



第4区走者
山下富士男
Yamashita Fujiro



第3区走者
長嶋菜生
Nagashima Nao

川根本町の応援団を募集中です ふるさと納税をご存じですか

ふるさと納税とは

「ふるさと納税」は、住民税の一部（原則として1割程度）を応援したい市町村に寄付し、そのまちの財政を支援する制度。昨年度から全国で開始されました。実際に暮らしていた古里はももちろんのこと、訪れたことのない市町村に対しても、応援したい意思があれば納税（寄付）できます。ふるさと納税として寄付すると、現在住んでいる市町村に納める住民税のおよそ1割を上限として、住民税と所得税が減税されます。皆さんのご親戚やお知り合いの人にも、ぜひ本制度をご紹介します。古里川根本町を応援してください。なお納税の方法など詳細については町のホームページをご覧ください。企業課までお問い合わせください。

次にご紹介する皆さんは今年度、本年11月までに本町にふるさと納税をしてくださった皆さんです。ありがとうございます。

ふるさと納税として寄付すると、現在住んでいる市町村に納める住民税のおよそ1割を上限として、住民税と所得税が減税されます。皆さんのご親戚やお知り合いの人にも、ぜひ本制度をご紹介します。古里川根本町を応援してください。なお納税の方法など詳細については町のホームページをご覧ください。企業課までお問い合わせください。

名古屋市 井林 辰憲 様
名古屋市 渡邊 哲也 様
富山市 増田 道直 様
島田市 伊藤千佳子 様
静岡市 匿名希望 様
※氏名の公表を了承してくださった方のみご紹介いたします。なお金額の公表は控えさせていただきます。平成20年度に納税してくださった方の氏名などは、町ホームページでも公表していません。併せてご覧ください。

企画課(56) 2221

世界農林業センサスとは

2010年世界農林業センサスは農林業を営む人を対象として2月1日、全国一斉に実施します。

農林業センサスとは、わが国の農林業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、農山村の実態を把握し、農林行政の企画・立案・推進のための基礎資料を作成し、提供することを目的として、5年ごとに実施する調査です。

農林業の現状を知り、未来へと

世界農林業センサスご協力を

企画課(56) 2221

毎年の申請が必要ですよ

所得税などの確定申告の際、身体障害手帳や療育手帳を持っていても「障害者控除対象者に準ずる認定」の対象となる場合があります。これは、毎年12月31日現在の認定情報（直近の要介護認定時の心身状態）から町が認定するものです。

障害者控除対象者に準ずる認定

介護保険からのお知らせです

福祉課(56) 2224

加工食品	塩分量
塩ます一切れ(80%)	約4.6%
ちくわ1本(100%)	約2.4%
梅干し1個(10%)	約2.0%
食パン1枚(60%)	約0.8%
しらす(10%)	約0.6%
プロセスチーズ1切れ(20%)	約0.6%
焼き豚1切れ(25%)	約0.6%
バター大さじ1(13%)	約0.2%

1日の塩分摂取量が改定

今まで10%以下と言われていた1日の塩分摂取量が、2010年より男性9%未満、女性7.5%未満に改訂されました。塩分の摂り方と、本格的な冬の到来に備えて注意したいポイントをあげておきますので確認してみてください。

1 適正な塩分の摂取

加工食品は塩分が多く含まれています。食べすぎに注意してください。

2 冬は血圧が上がる

冬の寒さは血圧を上昇させるため、血圧が気になる人は特に注意が必要です。外出時や入浴時など、急激な温度変化は、血圧の上昇をもたらします。冬は脱衣所やトイレを暖かくして居間や寝室との温度差をなるべくなくす工夫が必要です。この冬はインフルエンザや風邪の予防に加えて、高血圧の予防もぜひ心がけたいですね。

このページでは、カゼの予防、健康診断、心のケア、食事に関する豆知識など、皆さんが日頃気になっている健康に関するよもやま話を、保健師・栄養士・看護師の皆さんがリレー形式でご紹介しています。

高血圧の予防を心がけましょう

皆さん初めまして。わたしは今年の4月から、福祉課で保健師として働いている榊原和です。わたしは普段、地区の行事にお邪魔して、皆さんの血圧を測る機会がとて多いので、今回はその「血圧」のお話しをしたいと思います。知っていることとあると思いますが、おさらいしながら読んでみてくださいね。

血圧とは何か？

血圧とは、心臓から出た血液が血管の壁に与える圧力のこと。この圧力

は常に一定ではなく、時間帯やストレスなど色々な影響で変化します。血圧は、夜間・睡眠中は低く、起床と共に上がります。また食後や運動のあと、精神的ストレスがあるときなども血圧が上がります。このため血圧を測るときは、落ち着いた力を抜き、リラックスした状態で測ることが必要なのです。

血圧が高い状態が続くことを高血圧と言います。収縮期血圧(最高血圧)が140mmHg以上、もしくは拡張期血圧(最低血圧)

が90mmHg以上で、高血圧と診断されます。

高血圧は予防が大事

高血圧は、さまざまな病気の引き金になりますので、予防のための生活習慣を心がけることが大切です。次のポイントを確認してみてください。

- 1 減塩とカロリーコントロール
- 2 適度な運動
- 3 節酒、禁煙 ※適度な飲酒は血圧を下げる
- 4 十分な睡眠
- 5 ストレスをためない、またはストレス解消法を見つける

健康の話

39



今月の執筆者
榊原和保健師

今月の「知ってトクする健康の話」のテーマは「高血圧の予防」。榊原和保健師がご紹介します。

残り食塩の

新年あけましておめでとうございます 夢・挑戦・勇気

今年も社員一同、地域の皆様に貢献します。
どんな車でも、ご相談・ご利用ください。

川根自動車株式会社

川根本町上長尾 869-2 TEL: 0547 (56) 0150



謹賀新年 本年もよろしくご愛顧をお願い申し上げます

平成22年は、1月5日(木)から営業いたします。

※ホーチキの火災警報器を日立工機が販売・2個以上がお得価格で好評販売中です(パナソニック無線タイプもあります)。

農機具の購入・修理・改造など、お気軽にご相談ください。地域のお店だからこそ、ていねいに分かりやすく、迅速に対応いたします！

前田機材

川根本町上長尾795-1
I P 電話 ☎050-3363-2252
☎56-0006 ☎56-0009



特設ステージでの沖繩エイサーチームの演舞や会場内に軒を連ねた物産市などが人気を呼びました。



秋の風物詩「ふるさと祭り」

体験ブースや物産ブースに人だかりが

奥大井ふるさと祭り実行委員会が主催する奥大井ふるさと祭りは10月25日（天候不順のため1日延期）、音戯の郷前特設会場で開かれました。特設ステージでは沖繩から来町したエイサーチームによる迫力の獅子舞や優雅な演舞が披露され、会場から大きな拍手が送られました。地場産品を販売するブースには、ヤマメの塩焼きや蕎麦など、自慢の特産品が目白押し。大勢の人が舌鼓を打ちました。

つるかご作りや木工工作など体験コーナーも人気で、子どもたちが一生懸命工作に打ち込んでいました。

晴天に恵まれた25日。大勢の来場者が、紅葉に染まる秋の川根本町を満喫しました。

この町に起こった
新鮮な「ネタ」を皆さんの元へ。
この次に登場するのは
あなたかも!?



県下16チームがしのぎを削る大会で第3位に入賞。

14年ぶりの快挙を喜び合う

中川根野球少年団が選抜大会で第3位

第30回選抜少年野球学童部川根大会は11月21、22日の2日間、町営グラウンドで開催され、熱戦を繰り広げました。順調に勝利を重ねた中川根野球少年団は、準決勝で惜敗したものの見事3位に入賞。14年ぶりとなる快挙に選手・スタッフ全員が喜びを分かち合いました。あるスタッフは大会後、「大きな大会で結果を残せたのはチーム一丸となって挑んだ成果。支えてくださった皆さんに感謝しています」と話していました。



櫻井由利さんの説明を真剣に聞く聴講者の皆さん。

悪質な訪問販売に注意して

悪質商法から身を守る講演会を開催

「消費者事例講演会」は11月26日、山村開発センターで開かれました。講演では、中部県民生活センターの櫻井由利消費生活専門相談員が、悪質な訪問販売や催眠商法など手口の巧妙さ・怖ろしさについて、具体例を挙げながら解説。「自分だけは被害に遭わないなんて思わないで。いつ自分の身に降りかかるか誰にも分かりません。迷ったり困ったりしたらまず相談することが大切です」と来場者に訴えかけました。

成年後見制度の理解深める

神田織音さんによる成年後見制度講演

「講演で学ぶ成年後見制度」は11月28日、文化会館で開かれました。成年後見制度とは、判断能力が低下した人を法律で保護・支援するため、本人にかわって財産管理や契約をする後見人をたてる制度のこと。第1部では、社会福祉法人桂カリタス21の飯塚哲男社会福祉士が制度の仕組みや種類などを、第2部では講師の神田織音さんが悪徳商法の手口などを紹介。会場を埋めた150人の来場者は、本制度への理解を深めました。



神田織音さんの実例を交えた講演に聞き入る来場者。

新しいやまびこ号お目見え

移動図書館車が新しくなりました

移動図書館車やまびこ号の新車がお目見えしました。この車両は、車両後部に車いす用の昇降リフトが着き、通路スペースを広く取るなど、利用者が使いやすいよう工夫されています。



この日偶然散歩に来ていた山田とみ子さん（上長尾と文翔くん（2歳）さっそく本を手に取りにつっこり。

産業文化祭実行委員会が主催する産業文化祭は11月22日、役場本庁舎周辺で開催され、大勢の人でにぎわいました。特設ステージでは、子どもたちの可愛い演技や迫力ある空手の演舞などに大きな拍手が送られました。物産会場では、商工会や奥大井特産振興会、女性の会などによる物産市が軒を連ね、多くの人が秋の味覚を堪能しました。遊びコーナーでは、的当てゲームや竹製の水鉄砲、おはじきなど、昔ながらのおもちゃに子どもたちが夢中。林業研究会による木工体験、中電大井川電力センターの流木工作など、多彩な体験コーナーも人気でした。同時開催された「健康まつり」では国保連合会による体力測定や医師による健康相談などに大勢の人が並びました。来場者は、秋の深まりを感じながら、繰り広げられる多彩な催しを楽しみました。



魅力を再発見「産業文化祭」

さまざまな催しをみんなで楽しんだ

ステージで繰り広げられるさまざまな演目や会場内に所狭しと設置された体験コーナーなどを多くの人を楽しみました。



Topics

川根本町の まちの話題

生涯学習のひろば

教育委員会生涯学習課

☎ (56) 7080

たくさんの声援が選手の背中を押ししました
第10回記念静岡市町村対抗駅伝競走大会・敢闘賞受賞



第10回記念しずおか市町村対抗駅伝は川根平太県知事のピストルの合図で幕を開けた



チーム川根本町を代表し敢闘賞を受ける山下選手

第10回記念静岡市町村対抗駅伝競走大会は12月5日、静岡市内（県庁前から草薙陸上競技場）で開催されました。

チーム川根本町は、第1走者からアンカーまで必死の走りでタスキをつなぎ、町の部9位と大健闘。本町

では初となる「敢闘賞」を受賞しました。

本町の代表として誇りを持って駆け抜けた選手の皆さん、精一杯応援してくださいました。選手を支えてくれたスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。

前回大会から大幅にタイムを縮め大健闘した川根本町チーム・個人別記録など

記録：町の部9位 タイム：2時間33分10秒		(タイム横の丸囲み数字は区間順位)	
ジュニアA女子 渡邊愛理 (掛川西高2年)	15分30秒 ⑬	中学生女子 池本夢実 (本川根中1年)	11分48秒 ⑨
小学生男子 園田紳一路 (中央小5年)	6分36秒 ⑨	ジュニアB女子 前川裕音 (本川根中1年)	18分16秒 ⑨
小学生女子 長嶋菜生 (本川根小6年)	5分33秒 ⑪	ジュニアB男子 八木勝人 (川根高3年)	14分26秒 ⑨
40歳以上 山下富士夫 (崎平)	11分41秒 ⑤	一般男子 大窪健太 (小長井出身)	17分46秒 ⑫
ジュニアA男子 前川恭佑 (藤枝明誠高1年)	20分17秒 ⑫	男子1500m 宮島大樹 (本川根小6年)	5分22秒
一般女子 前川豊美 (小長井)	17分53秒 ⑧	女子1500m 松崎未来 (本川根小6年)	5分42秒
中学生男子 石原太勢 (本川根中3年)	13分24秒 ⑩	川根本町初の敢闘賞を受賞しました (前回のタイムから3分27秒縮めました)	

培ってきた歴史や文化、伝統、自然などの資源を活かしたまちづくり 生涯学習先進地視察研修を実施・推進委員21人が学ぶ

生涯学習先進地視察研修は11月29、30日にかけて実施され、町生涯学習推進委員21人が参加。生涯学習の先進地である岐阜県を視察してきました。

視察1日目は、「重要伝統的建造物群保存地区(妻籠宿)」のある南木曾町を中心に研修しました。2日目は、恵那市(岩村町)で「城下町ホッといわむら」の取り組みについて研修しました。

研修した恵那市は、恵那山のふもとにあり、個性豊かな6つの市町村が5年前に合併した市。合併前の旧岩村町が培ってきた歴史や文化、伝統、自然などの資源を活かしたまちづくり実行組織「城下町ホッといわむら」の活動状況などを学びました。

研修会では、恵那市の歴史や「城下町ホッといわむら」の取り組みについて、結成当時から携わってきた人から話を聞き意見を交換。その後、事務局の案内で、重要伝統的建造物群保存地区・岩村城下町を見学しました。

古くから伝わる歴史と文化を誇りにして、後世に残し伝えていこうという住民の皆さんの熱意が感じられる、充実した視察研修となりました。

古びた町並みの保全から「景観」の重要性を学びました



皆さん参加してみませんか 地域巡回型転倒予防教室実施中

皆さんの参加をお待ちしています



現在B&G海洋センターでは、地域包括支援センターと連携し、地域巡回型の転倒予防教室を実施しています。教室では、日常における転倒予防への心がけや実際に体を動かしての運動、頭を使うレクリエーションなど多彩な内容で楽しく学びます。

実際に体を動かしてみてもわかることも多く、自分の体がどれだけ動かせるのか知っておくことは、転倒予防にとっても重要なことです。

3月までに町内全地域を巡回する予定ですので、お住まいの地域で実施の際は、ぜひご参加ください。

今月の予定

- 10日 成人式
- 19日 すこやか大学北部(健康体操)
- 26日 すこやか大学中部(健康体操)
- 31日 家庭教育学級閉講式

今月の町民ギャラリー展示

てん刻 (岩瀬順郊・千頭出身)

今月の文化会館ロビー展示

- ① 手芸作品展(生きがいの郷・むつみの郷) 1/6~2/4
- ② ふれあいスクール作品展(生涯学習課) 1/14~2/10

平成22年成人式のお知らせ

今年、新成人になる88人を、全町あげてお祝いします。

日時 1月10日 午後1時開式 会場 文化会館
 新成人の主張、中学生祝いの言葉、アトラクションほか皆さん、ぜひご来場ください。

今月の行事

引換券

交換期間 1月20日水 ▶ 29日金

！コピー厳禁！

茶娘ちゃんカード ☎ (56) 0231

引換券

交換期間 1月20日水 ▶ 29日金

！コピー厳禁！

茶娘ちゃんカード ☎ (56) 0231

茶娘ちゃんカード会からポイント交換セールのお知らせ ☎ (56) 0231

ポイント交換セール

1月20日水から29日金まで

ポイントカードと左ページの引換券を茶娘ちゃんカード会加盟店へお持ちください。300ポイントと引換券1枚で500円のお買い物ができます。



小売りいたします お気軽にどうぞ
町内への配達もいたします

茶新坂本園

川根本町上岸110 ☎0547-59-2155

墓石・燈籠・各種石材加工

藤田石材店

川根本町上長尾861-35 ☎0547-56-1177
http://www.citydo.com/sp/0547-56-1177

川根地区 無料宅配! できる限りのお手伝い致します! **ギフトセンター文化堂**

スプリングコンサート
第17回 SpringConcert のご案内

出演に関する問い合わせ 中原緑 ☎(59) 3181

出演者を募集中です♪

開催日 **3月28日**
文化会館ホール 午後2時開演
出演応募締切 **2月28日**

スプリングコンサートの始まり
「文化会館にあるグランドピアノをぜひ子どもたちに弾かせる」との思いから平成6年、お母さんたちとピアノの先生が協力し合って演奏会を始めました。
どういったコンサート?
子ども中心のピアノやエレクトーンの発表会ですが、幼児から大人まで出演できます。毎回かわいい演奏家たちがほどこ緊張感の中、練習の成果を披露しています。コンサートでは、だいたい30から40曲を発表。過去にはグループアンサンブル演奏、バンド演奏、太鼓、バイオリン演奏などもありました。
今年で17回目を迎えるスプリングコンサート。現在出演者を募集しています。ぜひお電話ください。

今月の納期
税務課
☎(56) 2223

固定資産税・第4期分
国民健康保険税・第7期分
納期限は2月1日です。口座振替の人は2月1日に引き落とされますので残高の確認をお願いします。

出生・婚姻・おくやみ
戸籍の窓辺

お誕生おめでとう
地区 氏名 性別 保護者
地名 植田陽愛 女 弘昭

ご結婚おめでとう
地区 氏名 前住所
徳山 田畑剛 徳山
木村千寿子 島田市

おくやみ申し上げます

地区	氏名	享年	届出人
上岸	鈴木章平	78	智弘
崎平	西山和彦	81	嘉男
藤川	原田幸夫	81	均
藤川	植田鹿子	79	良雄
梅高	小澤健三	85	一仁
下長尾	小澤サ夕	96	志保
地名	松嶋英吉	75	保
下泉	堀畑政夫	82	ちず子
田野口	鈴木みつ	95	久
徳山	後藤政秋	75	つぎ

前号のおくやみ欄に一部誤りがありました。小澤いづさんの地区名は、正しくは梅高です。お詫びして訂正いたします。申し訳ありませんでした。

■戸籍欄に掲載を希望されない場合は、届出時に窓口でお伝えください。
■前々月に届け出された出生・婚姻・死亡の届け出の内、本町に住所があり本町の窓口(本庁・総合支所)で受け付けた分のみ掲載しています。

生活健康課 ☎(56) 2222

1歳になったばかりのお友達を紹介
生まれてくれてありがとう

横山 拡立くん

父：勝次・母：羊子
四男の拡立はとにかく可愛い! めったにいないよ四男は!
胸を張って、大きくなっていてね。お父さんもお母さんも頑張るよ~オ~

H20・12・8生 徳山

瀧尾 菜乃ちゃん

父：貴暁・母：民子
なないちゃん、1歳の誕生日おめでとう~
いつも元気で兄弟仲良かね。これからその笑顔をお忘れずに、やさしい女の子に育ててね。

H20・12・12生 下長尾

みんなの笑顔が、まちを元気にするよ~

birthday

family registration

より良い品を より安く

オザワマート

営業時間・午前9時~午後7時
川根本町上長尾 ☎56-1108 FAX56-1109

平成22年1月16日・17日に交換できます。

11000ポイント引換券

1万円とこの券で11000ポイント販売いたします。千円分お得です。最高2万円まで販売します。この券を切り取ってお持ちください。 **オザワマート**

川根本町自殺予防対策プロジェクトチーム
心のコラム

保健師として就職してから30年という月日が流れました。その間、何と多くの住民の皆さんの“心”と触れ合ってきたことでしょうか。胸部住民検診で要受診の結果が出た人に精密検査を勧める訪問では「ご本人もご家族もどんなに不安な思いでこの夜を過ごしているのだろう」と、辛そうな表情に変わっていったその人の“心”を察しました。幸いにも大事に至らず、後日朗報を寄せてくれたその人は、わたしにしがみつき「ずっと食べられなかった、眠れなかった、良かった…」と泣きました。どれだけ大きな不安を抱え数日を過ごされていたかを思い知らされました。精密検査から新たに疾病を指摘された方々の思いはなおさらです。わたしもちょうど1年前、胃部検診で初めて要精密検査となり、頭では“とるべき行動は一つ”と理解していても度胸を決めて内視鏡検査を受診するまでは逃げ回りたい思いでした。笑顔をつくってみても心ここにあらずで口数は急減し、親にも娘にも一切告げず、夫にだけ毎日不安な気持ちをぶつけました。胃は痛みだし、喉元や食道は急に詰まりっぽく感じ、本当に心と身体はナイーブにつながっていると実感しました。みんな、悩み・つらさ・悲しさ・悔しさ・そしてうれしさなど、さまざまな“心”と常に向き合って生活しています。皆さんの心身両面の健康に接する仕事をさせていただく中で少しでも役立ちたいと、わたしはかねてより興味があった自律訓練法を正しく学ぶため、5年前に「日本自律訓練学会」の正会員になりました。まだまだ勉強中の身ですが、皆さんの“心”にまでしっかりと目配り、気配りができるよう勉強していきたいと考えています。

プロジェクトチーム
生活健康課健康室長伊藤千佳子保健師

いやしの里診療所 ☎(59) 2102

夢をあきらめない
ふれあい講演会 桑田真澄氏

2月20日 会場 文化会館
午後1時
講演 午後1時30分~3時30分

桑田真澄氏(元プロ野球選手)による講演会を開催します。郵便はがき、応募箱への投函、インターネットからご応募できます。くわしい内容は、各戸配布した講演会チラシか、町ホームページ、中部電力榑ホームページをご覧ください。※応募箱は、役場本庁、総合支所、文化会館にあります。

応募締切 1月18日
問い合わせ 役場企画課 ☎(56) 2221
中部電力榑静岡支店広報グループ ☎054(273) 9004
http://www.town.kawanehon.shizuoka.jp (川根本町)
http://www.chuden.co.jp (中部電力)



適正な食品表示を監視
消費生活モニター募集

静岡県県民部県民生活室

平成22年度静岡県消費生活モニター(兼食品表示ウォッチャー)を募集します(募集人員 100人)。

業務内容 モニターとしての業務は1緊急時の価格調査、2アンケート調査への回答(年数回)、3不当表示に関するチラシの収集など。

任期 平成22年4月1日~平成23年3月31日(1年間継続できること)

応募資格 平成22年4月1日時点で、県内在住の満20歳以上の人

応募方法 はがき、ファクス、Eメールで。住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、職業、電話番号、県および官公庁モニター経験の有無、応募動機(200字以内)を記入の上、1月29日までに応募ください。

【申・問】静岡県県民部県民生活室
〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6
☎054(221) 2175 ☎054(221) 2642
Email: shohi@pref.shizuoka.lg.jp

そろばん検定合格
みんなおめでとう

本町商工会

都道府県商工会連合会および全国商工会連合会主催による第155回商工会珠算検定は11月15日、本町商工会2階で実施され、23人が受験し、9人が合格しました。皆さんおめでとうございます。合格された人は次のとおり(番号順・敬称略)。

第155回商工会珠算検定合格者

3級▶ 森隆弥(中川根中1年)
中村優希(中川根南部小5年)

4級▶ 柳原真帆(中川根南部小6年)
三倉怜(中川根南部小4年)

5級▶ 小坂侑矢(中川根南部小5年)
勝山響(中川根南部小4年)

6級▶ 前田将貴(中川根南部小4年)

7級▶ 中村拓夢(中川根南部小4年)

8級▶ 小坂麻嘉(中川根南部小3年)

川根本町の人口 平成21年12月1日現在

世帯数	3,089	世帯(+5)	[53]	出生	1人	[0]
総人口	8,673	人(-13)	[76]	死亡	11人	[0]
男性	4,229	人(-10)	[15]	転入	16人	[11]
女性	4,444	人(-3)	[61]	転出	19人	[0]

※()内は前月比、【 】内は外国人数、右欄は今月中の異動 ※外国人の数を含む

本庁代表 ☎(56) 1111
総合支所代表 ☎(59) 3111

ちゃっきり娘養成講座第8回
美しく咲くささゆりを想像して

1日目：芋切り干し作り 2日目：ささゆり球根植え付け



くわを振るって穴を掘り、ささゆりの球根を植え付け

1日目は恒例の畑作業のあと、畑で取れた太白たいはくを使って切干し芋を作りました。ふかした芋の皮をむき、ちょうどいい大きさに切り分けてから籠かごに並べました。みんな悪戦苦闘しながら、初めて挑戦した芋切り干し作り。できばえが楽しみです。

2日目は、ウッドハウスおろくぼで開催された「森の感謝祭」に参加。ささゆりの植え付け作業を体験しました。山の急な斜面に深さ約30センチの穴を掘って球根を植えていくのは、なかなか大変な作業です。それでもちゃっきり娘の皆さんは、美しく咲いたささゆりの姿を想像しながら、楽しく作業を進めました。ささゆり植栽後は、大札山へハイキング。美しい紅葉の中、1時間弱の登山を楽しみました。山頂からは川根本町が一望でき、最高の眺めを堪能しました。

exchange

千年の学校第8期基礎講座⑤
本町の魅力を探るツアー開催

会場：接岨、徳山、原山など



八橋小道を歩きながら接岨湖をのぞむ参加者たち

千年の学校では11月9日、5回目の基礎講座として「お宝発見ツアー」を開催。素晴らしい秋晴れの下、町内の魅力的なスポットを訪れました。

学生が日ごろ「自慢したいと思っているお宝スポット」や「今まで訪れたことのない魅力的な場所」などを事前に募集。当日は接岨から原山まで、丸1日かけて町内を巡りました。

各スポットに住む学生がガイド役となり、接岨のたぶの木や八橋小道、徳山の愛宕地藏、原山ヒロヲの奥光茶園、向井から望む美しい夕日など、2町の合併で広がった川根本町の魅力をあらためて実感しました。また今回、接岨までの道のりは井川線に乗車し、美しい自然をゆったりと満喫しました。この町には、たくさんの魅力が詰まっていると感じられた1日となりました。

rediscovery

眼科患者さん無料送迎いたします。

ご近所から、当院まで送迎車にて無料送迎いたします。
ご予約は電話にてお願いします。
(当院に初めて受診される方もご利用いただけます)

島田眼科クリニック

住所：島田市日之出町3-9
島田駅から徒歩1分
☎0547-37-0431
診療時間：午前9時～12時、午後2時～6時
(休診日：水曜、第2・第4日曜日、祝日)

自分の視野を広げることができた修学旅行

川根高等学校 2年 西上香帆里

不安と期待の修学旅行

わたしたち2年生は、11月30日から12月4日までの5日間、修学旅行で台湾に行きました。

修学旅行は、高校生活の中でもとても重要な行事です。行く前は、海外への不安や緊張もありましたが、だんだんと楽しみに思う気持ちも大きくなりました。

最初はあまり、修学旅行に行くという実感はありませんでしたが、台湾に着いて、台湾語を聞いたときには「本当に来たんだ」という実感がわいてきました。

5日間の中でお寺や観光スポットなど、いろいろな場所に行きました。向こうのお寺は日本のお寺と違い、赤や青、金色などが使われていてとてもカラフルでした。おみくじの引き方も違います。台湾ではお金は払わず、引いてもいいか神様に聞くそうです。わたしたちもガイドさんに教えてもらいながら実

際に引いてみました。いろいろ手順があつて難しかったですが、いつもと違う引き方がとても新鮮でした。

楽しみにしていた学校交流

修学旅行の中で、特に印象に残っているのは「学校交流」です。向こうの学校に到着したとき、みんなの歓迎ぶりのすごさには驚きました。わたしたちを快く受け入れてくれたことがとてもうれしかったです。

学校交流が一番楽しみにしていたのですが、やはり緊張と不安でいっぱいでした。でもわたしと組んだペアの子が、そんな気持ちをはぐしてくれました。

笑顔で話しかけてくれたのですぐに打ち解けることができました。自分の気持ちを言葉で伝えるのは大変でしたが、英語や漢字を交えながらなんとか伝えることができました。わたしたちは、台湾の生徒のみんなと一緒に、模擬授業を受

けました。英語の授業では、先生が説明のときでさえ、ほとんど英語しか話していませんでした。とにすごく驚きました。スラスラと英語を話している人もいて、わたしももっと頑張つて勉強しようと思いました。

自分の視野が広がった

台湾でたくさんを知ることができました。日本人が思っている台湾との距離より台湾人が思っている日本との距離の方が近いということをガイドさんが教えてくれました。そのことを、学校交流や修学旅行全体を通して肌で感じることでできた気がします。文化や人と触れ合い、いろいろなことを体験したり感じたりすることで、わたしはもっと台湾について知つてみたいと思いました。

異国の地へ行ったことで日本の良さをもう一度見つめ直すことができ、自分の視野も広がることができました。



◀充実した期間がみんなの心を成長させた修学旅行での一コマ。
▶現地の文化や人に触れたことで、もっと台湾のことを知りたくなったと話す西上香帆里さん



column

新年は1月3日から営業

より良い品を より安く

オザワマート

11000ポイント交換は、平成22年1月16・17日です

- 土曜日・日曜日にオザワマートのプリペイドは1万円で10,600円に！ 600円お得です！
- 日曜日・月曜日に2,000円以上お買い上げのレシートで、木曜日にお得なサービスがあります

緑のふるさと協力隊員・千葉遥加の奮闘記

風ノハルカ

Chiba Haruka volume6

寸又峡温泉感謝祭に行ってきました

寸又峡で12月7日に開催された温泉感謝祭に行ってきました。そもそもこのお祭りは12月6、7日に温泉が湧き出たという理由で、毎年同じ日に開催されているそうです。「この2日間は温泉が無料で入り放題。鍋なんかも格安で振る舞われるよ」という噂を聞いて、いそいそと連れられて行ったわけですが、実際に行ってみると地域の活気が感じられるすごくいいお祭りでした。

* * * * *

寸又峡の入口に着いた瞬間、あまりの寒さに震えてしまいました。防寒対策は完璧にしたつもりでも、じわじわと足元から冷えてきて、感謝祭会場にあった燃える薪の周りから離れたくなかったぐらいです。

十分に暖をとったあと、天狗や山伏の行列を見に行きました。カメラで行列や天狗を撮っている間に、山伏にお湯をかけられて驚きました。無病息災、叶うといいな。会場内には平日なのに大勢の人がいました。天狗や山伏を含め、鍋の用意をしていた人たちもほとんどが寸又峡の人たち。自分の家の店番をやっている人以外は、全員がこの会場にいるんじゃないかというぐらいでした。

鍋は名物のきやんぼう鍋。熊、鹿、鴨、猪の4種類が用意されていました。わたしは鴨鍋が一番好きです。

その他にもおでんやそば、八つ頭の焼き芋、色々な飲み物があり、どれもおいしかったです。気が付くと、人の熱気と食べ物の熱気で、わたしはほとんど寒さを感じなくなっていました。

ふらふらと食べ歩きをしていたら、何度か「風ノハルカの人？」なんて声をかけられ、このコーナーのありがたみを感じることもできました。

寸又峡自慢の温泉にも入ってきました。さすが美女づくりの湯と命名されるだけあって、入ったあとは肌がすべすべです。寒い中で入る露天風呂は最高ですね。入る時間帯が遅く、人が少なかったのも、ゆっくりお湯につかることができました。

温泉のあとは会場に戻り、丸太切り競争と餅つきを見ました。丸太切り競争では、おじいちゃんおばあちゃんたちが力強く素早いこぎりさばきで若い人を圧倒していました。また、つきたてのお餅はすごくおいしかったです。

寸又峡の皆さん、ごちそうさまでした。

千葉遥加（ちばはるか）

千葉県柏市出身 緑のふるさと協力隊員第16期生

緑のふるさと協力隊とは

特定非営利活動法人地球緑化センターが実施する、農山村に興味を持つ若者を、地方自治体に一年間派遣する事業。協力隊員たちは、農林畜産業など担い手が不足する第1次産業や、新しい刺激を求めている観光施設などで、隊員活動に励み、地域の活性化に貢献する。遥加さんは第16期生、川根本町3代目の隊員。

